

エクステリア

エクステリアはコンパクトさとスポーティーさの表現に重点を置きました。

フロントボディーとリアボディーを凝縮した立体として、ライダーが跨る部分を大胆にくびれさせることにより、可能な限り車体をコンパクトにまとめました。ボディーサイドには車体前後に走る大胆なキャラクターラインを入れ、ボディーを上下に分けて見せることにより軽快感を演出しています。

エッジを効かせたキレのある造形を効果的に取り入れ、既存の流麗な面で構成されたビッグスクーターのスタイリングとは異なる価値観を表現しました。

55wのヘッドライトを持つ、コンパクトにまとめたフロントマスクには、垂直方向の流れを感じさせる鋭い表情を持たせ、独自の存在感を表現しました。

新設計のテールランプも、シンプルかつ特徴的な形状としながら十分な配光性能を有し、被視認性にも優れています。



インテリア

インテリアは、ボディーカラーに挟まれた「メーターパネルからシート後端にかけての cockpit部」を黒で統一し、タイトなスポーティーさを演出しています。メーターは中央にタコメーターを配し、軽快な走りの期待感を演出しています。スピードメーターは大型の液晶パネルを採用することで良好な視認性を確保しながら、メーター全体のコンパクト化を実現しました。さらに燃料計や時計、オド・トリップメーターといった機能も装備しています。

また、アップライトなライディングポジションをサポートするシートを、スリムかつ小型化することにより軽快感と良好な足着き性を与えています。

